

ベンチでつりあげられて半ダコに

Fさんの場合は……

言つたら変な話せけど、京を蒸発して来たんでその、八年ぐらい前に。
大阪へ行きや、マアなんとか仕事にありついてメシ食われるやろ思つて、別府から船に乗ったんやけど、金を使いはたして神戸で降りたんです。

神戸で降りたのはいいけど、金がない。しょうがないから駅のヤンチでボウ。ここをたら、二晩目に手配師が、仕事あるんやかと、どやかと声かけて来たんですわ。それやったらメシ食えろし、二千二百円の仕事や言ひよつたから、なんぼか金をでまざる思つて付いて行つたんです。

漁の新在喫いところにある飯場でした。そこで二日間、ぶっ通して働いた。六甲

のケール線工事で、ロープ伝つて山を登るわけなんです。で、二一日目に、二く三人昇つたあとに俺が昇ろうとしたら、ロープが岩にすれて切れたんですわ。下に岩があつて、アゴを打つて四針か五針縫つた。オマジに言うたんですわ。医者に行くから現認書かいてくれと。それたら、そのオヤジが山口系で、俺んと二はそんなもん知らんで、言うげっかり、とうとう現認書もなんにも書いてくれんかった。

このオヤジは神戸の方のバクチに行つたことが多いらしくて、いつ居るのかまたく判らんようなオヤジやった。

二五日が給料日やいうことや、たんで、自分で計算した紙を出したんですわ。その

時オヤジはいなくて、話判る者は誰もいない。精算、なんや、それ、いう感じ。

ようやくつかまえて話をすると、いや、うちは預けがあるんや、だから、二五日に計算して次の月の一日に払うんや。いいよる。そりやしょうがないけど、金をないし、一杯を飲まれんから、一万円ぐらい貸してくれ。いうたら、一万円貸こよつた。

結局、あの飯場では誰もきつちり精算してもらつたものはおらんのかうか、ただ中貸、中貸で金を借りて、そのうちいやはかさくてトンコする。

その飯場に長いこと居る人間いうたら、うちやあれやけど、テンカン持ちの人とか、在日朝鮮人とか、なんかものすごく具合の悪い人、寝たきりで仕事行つてるかどうか判らんような人なんかでしたわ。

ともかくメシもひどがった。朝は赤ミンの薄いのに入れて、ナッパ入れたりキャブツ浮かしたりしたのと、メシ、タクワン

二切れ、梅干が一つ。働いとる間にタンパツ質は一回お出んかった。キムチとか朝鮮漬けみたいな漬物ばかりぎょうさんでよつた。

肉とか魚とかが全然でないかわりに、朝から晩までチクワばかりの時があつた。

一万円持つてトンコしてから、三と四月、高架下のドマにあつた。その間に、同じ神戸でもう一度半ダコにひつかつた。

そこそ中貸こはするけど精算はせん。一回取りに行つたら、オマジがおらんから待つといてくれ、で、精算もせえへんくせした。単価がよつとるからもう一回働いて行つてくれという。

その時は金を千円しか持つてなかつたから、坊屋裏に行つたり、そういう役所の手続きする余裕ないでしよう。なんぼかあるんなら、そりやええけど……、そのままパ一になつた。

二日目のギョコミたいな飯場で感の人が
実はこんなところならまだ西成の方が払う二
こは払う、現金もあるし、それは毎日金を
払い、払う、そこは間違いないわ、いうて
話こよったから、それで大阪へでてきた。

★ ★ ★

大阪の飯場の方がよかったみたい。

今から三と四年前に行った京都の石屋、
谷建設。四千五百円で飯代八百円引きよっ
たけど、エサはよかった。人間は三十人ぐ
らいあったわ。通いの人もあったし、運転
手とか重機なんかも……

二日に一回はホルモン焼いてくれる。伏
見の方やったから、濁りっていうのかな、
白い酒あるでしよう、あれを一升ビンで買
ってきてみんなに飲ませたり。弁当もよか
った。オカズはメシと別にタッパウエア
に入れたのが付いていた。

そのかわり仕事かきつい。人の入れ替り
が激しくて総く奴はいなかった。

俺が行った時は京都の山崎の所の河川工
事で、冬場、雪の降る中を長グツはいて、
水の中へ土ノうる荷いで入り水をせき止め
る仕事やった。

朝鮮人労働者約百名虐殺される

—信濃川ダム工事現場夕ゴ部屋で—

「われわれ朝鮮人は、生命の糧を得るため
に、はるばるこの日本に渡来するのである
が、これらの人々は貧乏者であると共に、
鮮人なるといふ偏見の下に数々の暴虐を敢
へて受けつつある力である。今回の信濃川
事件の如きもまたその一例である。かの如
き問題は吾々朝鮮人は勿論、また日本の無
産者も之を対岸の火災視する事は出来ぬと
思う。そして監獄群衆の如き不平等にして、
かつ人道を無視する弊害は一時も早く、言
々はこの血と腕とをこめて解決……」

—一九二二年九月七日、信濃川虐殺事件

糾弾大演説会における鮮雲海氏演説の辞。

金一、趙丹、朴烈、七。美からし